

【情報提供】琵琶湖でのアオコの発生について(第6号)

令和3年9月10日(金)10時30分頃、県琵琶湖環境科学研究センターの職員が雄琴港でアオコの発生を確認しました。県琵琶湖環境科学研究センターでプランクトンを同定・計数したところ、その結果は下記のとおりでしたのでお知らせします。

琵琶湖におけるこれまでのアオコの発生状況は、滋賀県ホームページ「今日の琵琶湖」(<http://www.pref.shiga.lg.jp/ippan/kankyoshizen/biwako/300014.html>)をご覧ください。

記

アオコの発生状況

発生場所	確認日時	規模	レベル	水温(℃)	構成プランクトン (群体数/mL)
雄琴港(北側) (大津市雄琴)	9月10日 10時25分	10m×30m	4	26.0	ミクロステイス属 6,800 アナバナ属 1,700 オシロリア属 2
雄琴港(南側) (大津市雄琴)	9月10日 10時30分	5m×25m	4	27.0	ミクロステイス属 16,000 アナバナ属 3,000

〈参考〉

レベル4：水表面を膜状にうっすらとアオコが覆う。

レベル5：水表面に厚くマット状にアオコが覆う。

レベル6：アオコが腐敗し、浮き滓状になって湖面を覆い、腐敗臭を発する。



雄琴港(北側)



雄琴港(南側)